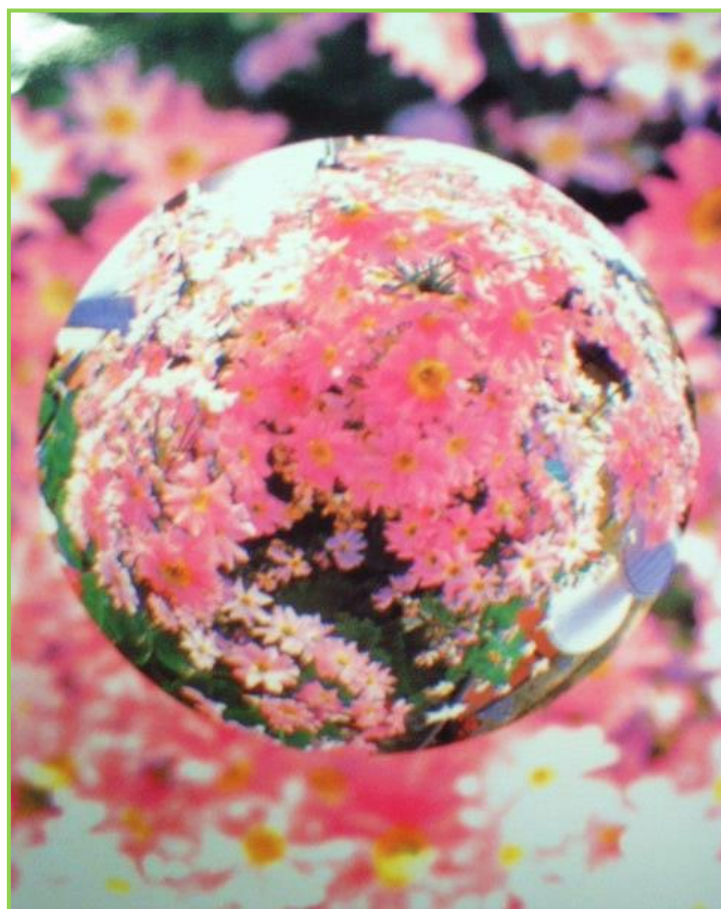


エコアクション21

2021年度環境経営レポート



 株式会社協和製作所

作成日：2022年4月6日

—目次—

表紙	1
目次	2
1 組織の概要	3
①事業者名及び代表者名	3
②所在地	3
③環境管理責任者及び事務局	3
④連絡先	3
⑤事業活動の内容	3
⑥事業規模	3
2 対象範囲	4
①認証・登録範囲	4
②レポートの対象期間及び発行日	4
③E A - 2 1 推進組織図	4
3 環境方針	5
4 環境目標	6
①環境目標	6
②環境への負荷の状況(取りまとめ表)	6
5 環境活動計画	7
①環境活動計画	7
②環境への取り組み状況まとめ	8
6 環境目標の実績	9
7 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組	10
8 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	10
9 代表者による全体評価と見直しの結果	11

1 組織の概要

① 事業者名及び代表者名

株式会社 協和製作所 創立：昭和 35 年 1 月
代表取締役社長 藤原正治

② 所在地

〒025-0015 岩手県花巻市東十二丁目第 19 地割 10 番地 51



③ 環境管理責任者及び事務局

E A - 2 1 責任者：高橋昭広 事務局：藤原豊、佐藤晴美

④ 連絡先

連絡担当者：高橋昭広（プレス課）

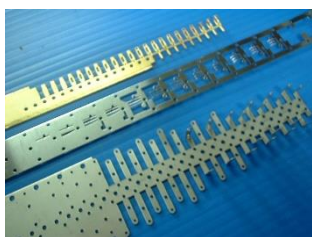
総務 TEL：(0198) 22-3145 FAX：(0198) 22-3922

プレス課 TEL：(0198) 22-3144 FAX：(0198) 22-5091

E-mail：総務 kkks0@jasmine.ocn.ne.jp プレス課 kkks1@juno.ocn.ne.jp

⑤ 事業活動内容

半導体コネクター製造装置製作，弱電プレス部品加工
プレス金型設計製作，各種精密治工具製作，自動機組立



⑥ 事業規模 1月～12月 資本金 3 1 0 0 万円

活動規模	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度
主要製品生産量	t	26.9	36.43	43.61
売上高	百万円	224	170	213
従業員	人	36	34	34
床面積	m ²	2272.86	2272.86	2272.86

2 対象範囲

① 認証・登録範囲

摘要事業場の所在地と主要事業内容は以下のとおりです。

岩手県花巻市東十二丁目第 19 地割 10 番地 51

半導体コネクタ製造装置製作，各種精密治工具製作，自動機組立
プレス金型設計製作，プレス部品加工

② レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2021 年 1 月～2021 年 12 月

レポート発行日：2022 年 4 月 6 日

③ EA-21 推進組織図



【業務内容】			
1. 住宅設備部品のプレス加工	2. スイッチ端子のプレス加工	3. コネクタ製造装置製作	4. 半導体製造装置の製作
5. 遊戯用部品のプレス加工	6. 複写機用部品のプレス加工	7. モールド金型製造	8. 各種自動機の組立
9. 精密金型製造	10. 治工具の製作		

3 環境経営方針

株式会社協和製作所は

「先人歩み来し星霜、自然豊かな理想郷イーハトーブ花巻」の未来に誇れる環境を

守り続けていくために、事業活動のあらゆる分野で環境保全活動に努め

地域社会の発展に貢献することを目指します。

1. 当社は、精密機械部品製作等の事業活動を行うにあたり、省エネ・省資源への取り組みを重点分野と捉え、環境経営目標並びに環境経営計画を定めて、継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 当社は事業活動に於いて、環境負荷を削減するため次の事項を優先的に取り組みます。
 - I) 二酸化炭素排出量の削減
 - II) 廃棄物排出量の削減
 - III) 水使用量の削減
 - IV) 原材料・物品等の調達に於ける環境配慮
 - V) 化学物質の含有把握
4. 全従業員が積極的に環境活動を展開するため、啓蒙・啓発に努めます。
5. 環境経営方針は当社従業員に周知徹底するとともに一般に公開します。

2019年1月5日

株式会社 協和製作所

代表取締役 **藤原正治**

4 環境目標

1. 環境目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下の内容の目標を設定いたしました。尚、目標設定の基準は2020年度のデータとなります。

環境目標

(株)協和製作所

承認	作成
藤原	高橋

環境目標	2020年度	2021年度	2022年度 (中期目標)	主な活動項目
二酸化炭素排出量の削減	1年間(1月～12月)のCO2排出量を把握する。	・作業時間あたり 2020年度比1%削減	・作業時間あたり 2020年度比2%削減	・休憩時間の消灯 ・製品不良率の把握 ・エアコンの温度管理 ・設備の必要以上のアイドリングストップ ・材料購入量の換算データの記録
廃棄物の削減	1年間(1月～12月)の廃棄物排出量を把握する。	・総量で2020年度比1%削減	・総量で2020年度比2%削減	・梱包材その他のゴミの分別計量 ・業者へ過剰包装抑制の通知 ・梱包材の返却の促進 ・両面コピー・裏紙利用の徹底 ・紙類の分別の徹底
水資源使用量の削減	1年間(1月～12月)の水の使用量を把握する。	・総量で2020年度比1%削減	・総量で2020年度比2%削減	・手洗い時の節約の徹底(表示) ・節水表示の強化 ・水道量の定期的管理 ・蛇口等の漏洩管理
環境負荷の少ない 原材料を使用する (製品に関する環境目標)	・当社、化学物質管理 システムにより管理する	・化学物質管理システム 更新審査の認証・登録	・当社、化学物質管理 システムにより管理する	・ユーザー毎の化学物質管理の対応 ・原材料等の化学物質の含有調査 ・化学物質含有調査対象物質最新版の維持管理 ・化学物質対象物の購入量及び保管状態の管理
不良品の発生抑制による 生産性の向上 (製品に関する環境目標)	不良品発生件数の把握	前年対比削減	前年対比削減	・作業者教育の充実 ・力量マップの活用 ・必要に応じた治工具の作成

2. 環境への負荷の状況 (取りまとめ表)

環境負荷削減の目標及び環境活動計画を策定するための2021年度の環境負荷実績は下表の通りです。(購入電力の二酸化炭素排出係数は0.428kg-CO2/kwhを使用)

項目	2021年1月～2021年12月					
	量	料金(円)	CO2排出量(kg-CO2)	割合	環境負荷の要因となる主な活動・設備等(具体的)	
エネルギー 使用量 (シート: 3. エネルギー 使用量)	電力1 リコージャパン(株)	431,234.00 kWh	9,095,471	184,568.15	93.9%	工場
	電力2 東北電力(株)	537.00 kWh	167,313	229.84	0.1%	倉庫
	電力3	0.00 kWh		0.00		
	電力4					
	電力5					
	ガソリン	4,446.40 L	668,604	10,315.65	5.2%	
	軽油	405.66 L	38,342	941.13	0.5%	
	灯油	54.00 L	5,184	134.46	0.1%	
	A重油					
	都市ガス		m3			
	液化石油ガス(LPG)	137.66 Kg	43,114	412.97	0.2%	
	液化天然ガス(LNG)		Kg			
	合計(エネルギー)		10,018,028	196,602.19	100.0%	
一般廃棄物総排出量 (シート: 4. 一般廃棄物排出量等)	1,105.00 kg	103,200				
産業廃棄物総排出量 (シート: 5. 産業廃棄物排出量等)	2,800.00 kg					
中間処理量	1,600.00 kg	-2,400				
↳ ち資源化量	1,200.00 kg					
最終処分(埋立)量						
産業廃棄物(特別管理)総排出量 (シート: 5. 産業廃棄物排出量等)						
中間処理量						
↳ ち資源化量						
最終処分(埋立)量						
水使用量 (シート: 6. 水使用量及 び総排出量)	584.00 m3	171,534				
工業用水						
地下水						
化学物質 使用量 (シート: 7. 化学物質使 用量)	ヘリウム(CAS No. 7440-41-7)	1.66 Kg				
ニッケル(CAS No. 7440-02-0)	387.73 Kg					
	0 Kg					
	0 Kg					

5 環境活動計画

1. 環境活動計画

本社工場及びプレス工場の事業活動における環境への負荷を低減するために、従業員一同が取組んでいる主要な活動内容は以下の通りです。

① 二酸化炭素排出量の削減

- ・休憩時間の消灯
- ・換気扇の管理
- ・エアコンの温度・時間管理
- ・設備のアイドリングストップ徹底
- ・コンプレッサーの夜間管理
- ・電気給湯器の休日前停止
- ・ストーブ、エアコンの終業 10 分前停止

② 廃棄物の削減

- ・両面コピー、裏紙利用の徹底
- ・段ボールのサイズ分別
- ・緩衝材、梱包用新聞紙の回収
- ・業者へ過剰包装抑制通知
- ・廃油のリサイクル
- ・包装材の返却の促進
- ・材料端材の分別の徹底
- ・書類の電子化
- ・紙類リサイクルの徹底
- ・ウエスの再利用
- ・油メーカー統一による使用量の削減
- ・廃棄物置き場の廃油の定期回収
- ・新聞の現場使用の抑制

③ 水使用量の削減

- ・節水シール等の表示
- ・蛇口等の漏洩管理
- ・水道使用量の自主的チェック

④ 製品に関する環境施策

- ・原材料等の化学物質の含有調査
- ・使用禁止物質等の最新版の維持管理

⑤ グリーン購入の促進



- ・グリーン購入 100%維持
- ・経済的な比較によるグリーン購入の検討

⑥ その他

- ・環境保全活動（環境委員会会議、工業団地敷地内の清掃等）
- ・自動車の「アイドリングストップ」表示
- ・環境レポートの一般への公開

2. 環境への取り組み状況まとめ

環境への取り組み状況まとめ

承認	作成
	

作成: 2022年4月6日

施策	チェック結果の点数	満点の場合の点数	環境経営度数	取組みの自己チェックリスト内の「さらに取組が必要」な項目	
事業活動へのインプットに関する事項	1) 省エネルギー	55	66	83.3%	<ul style="list-style-type: none"> ブラインドやカーテンの利用などによる、熱の調節 屋外機の冷却対策(よしず、日陰、散水など) 工程間の仕掛かり削減などで生産工程の待機時間短縮 冷暖房は終了時間前の停止 照明器具の定期的な清掃、交換 電力不要時の負荷遮断、変圧器遮断 天井埋込形エアコンの吹き出し口にファンの導入
	2) 省資源	23	30	76.7%	<ul style="list-style-type: none"> 社内LAN等による文書の電子化 会議用資料や事務手続書類の簡素化 打合せや会議に、ホワイトボードやプロジェクターの利用 印刷物の部数が必要最小限の量となる配慮 端材などのロスを減らすための材料取りや設計の見直し
	3) 水の効率的利用及び日常的な節水	13	16	81.3%	<ul style="list-style-type: none"> 水流し音発生器の取り付けなどでトイレ用水の節約 自動水栓の設置
	4) 化学物質使用量の抑制及び管理	8	10	80.0%	<ul style="list-style-type: none"> 洗浄液などは、交換頻度を見直しを行い、使用量の削減
小計	99	122	81.1%		
事業活動からのアウトプットに関する項目	1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	8	8	100.0%	
	2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	26	36	72.2%	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の分別の徹底と有価物化 梱包材、包装資材の削減 3S活動の実施 生産工程の歩留り向上 加エミスによるロスの低減
	3) 排水処理	5	6	83.3%	<ul style="list-style-type: none"> 排水への汚濁物質の混入を減らす
小計	39	50	78.0%		
製品及びサービスに関する項目	1) グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)	8	8	100.0%	
	2) 製品及びサービスにおける環境配慮	9	12	75.0%	<ul style="list-style-type: none"> 製品に於ける部品点数の削減等、資源使用量の削減 金型の工夫で不良品の削減 製品の長寿命化
小計	17	20	85.0%		
その他	1) 生物多様性の保全と持続可能な利用の為の取組	4	4	100.0%	
	2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	6	6	100.0%	
小計	10	10	100.0%		
合計	165	202	81.7%		

6 環境目標の実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。

I 二酸化炭素の削減

2021 活動目標	2020 年度 (総排出量)	2021 年度 (総排出量)	結果 (削減量)	評価
作業時間あたり 2020 年度比 1%削減	3.81 kg/1h (212,883.01 kg)	3.56 kg/1h (216,845,23 kg)	6.8%の削減 (0.25 kg/1h)	○

II 廃棄物の削減

2021 活動目標	2020 年度	2021 年度	結果 (削減量)	評価
総量で 2020 年度比 1%削減	1,013.0 kg	1,105.0kg	9.1%の増加 (+92 kg)	×

III 水資源使用量の削減

2021 活動目標	2020 年度	2021 年度	結果 (削減量)	評価
総量で 2020 年度比 1%削減	545.00 m ³	584.00 m ³	7.2%の増加 (+39 m ³)	×

IV 製品に関する目標

2021 活動目標	2021 年度実績			評価
原材料等の含有調査	全社	化学物質管理システム	順守状況の確認	○

2021 活動目標	2021 年度実績		評価
前年対比削減	前年比 13 件削減		○

7 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組

I 二酸化炭素排出量

廃棄物排出量

水使用量

2021年度の当社の環境経営目標に於ける環境活動は、2019年にプレス工場移転に伴う新設設備下でのデータ収集を行った2020年度実績値との対比削減を目標とし取り組んで参りました。結果と致しましては、CO2排出量のみが目標の達成となり、廃棄物排出量並びに水使用量は削減目標を大幅に下回る未達成となりました。

CO2排出量が達成となった背景として2021年3月から12月まで前年同月よりも作業時間が増加している状況にありながらも効率良くエネルギーを使用出来たのではないかと考えております。

廃棄物排出量増加の要因と致しましては、仕事量に紐付けされた廃棄物の増加よりも一般ごみの増加が著しいので、従業員ひとりひとりの心掛けを今一度再認識して、次年度は目標を達成出来る様にしたいと思います。

水使用量の増加の要因と致しましては、使用量総量とひとりあたり使用量の増減が一致しているため、人的要因が一因と考えられます。このことから、人員の増加に伴う使用量の増加は致し方ない面も考慮して、ひとりひとりが節水への意識向上と継続を念頭に置いて、ひとりあたり使用量の抑制に努めていき、次年度は目標を達成出来る様にしたいと思います。

II 製品に関する目標

「環境負荷の少ない原材料を使用する」については、当社で運用している化学物質管理システムの更新に向けた社内監査を実施し、全項目の適合を確認しました。また、「不良品の発生抑制による生産性の向上」については、不良品発生件数が対前年比13件の削減になり目標を達成することができました。

※次年度も使用禁止物質の追加等、最新情報の入手に適切に対応し、生産現場においても今年度以上に不良品の発生抑制に努めていきます。

8 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の順守状況確認は年1回実施しています。過去3年間、関連法規への違反、行政機関からの訴訟等はありませんでした。また、地域住民からの苦情もありませんでした。

【主な法規制】

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・循環型社会形成推進基本法
- ・フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
- ・PCB廃棄物特別措置法
- ・消防法
- ・水質汚濁防止法
- ・土壌汚染対策法
- ・労働安全衛生法等。

9 代表者による全体評価と見直しの結果

見直しの為のインプット情報

- ①『環境への負荷自己チェック結果表』より各データ
- ②『環境への取組自己チェック結果表』より取組状況
- ③『EA-21 推進組織図』より実施体制の確認
- ④『環境関連法規のとりまとめ及び遵守状況チェック表』より遵守状況の確認及び契約書、届出書等の確認
- ⑤『環境活動計画表』より計画の実施状況確認
- ⑥『環境目標』より目標の達成度
- ⑦『環境教育・訓練計画／実施結果』より計画・結果の確認
- ⑧『外部環境情報記録表』より利害関係者からのコミュニケーション結果
- ⑨『緊急事態対応手順と訓練結果』より緊急事態の準備状況の確認
- ⑩『問題点の是正／予防処置報告書』より是正、予防状況の確認
- ⑪ 環境管理文書・記録類の確認

評価及び見直しの結果

評価及び見直しの日時：2022年1月31日		
項目	変更	指示事項及び対応方法
I 環境方針	不要	見直しの必要無し。
II 環境目標	不要	見直しの必要無し。
III その他 マネジメントシステム に関する要素	不要	<p>今年度は、昨年に引き続き COVID-19 による経済活動が停滞している年度であった。</p> <p>製造業においては主要大手材料メーカーの事業の縮小による材料価格の高騰と供給量の抑制で、需要家側の弊社では製造原価の上昇による純利益の減少と、材料調達困難による生産計画の調整等が非常に難しい年度であったと感じる。</p> <p>材料価格の上昇は管理費の抑制等の自助努力では解消出来ない状況まで来ているので、各客先へ部品単価の改正の働きかけを行っていくが、それだけでは無く、同時に製造コストの抑制にも力を入れる必要があると考える。その為の指標として環境経営目標を活用し、目標を達成出来る様に従業員各々が作業の効率化を考えながら生産に取り組んで行って欲しいと思う。</p>